

# 会 議 録

## 1 会議名

第1回上越市福祉有償運送運営協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 上越市の福祉有償運送について（公開）
- (2) 登録団体の更新に係る審議について（公開）

## 3 開催日時

平成31年2月25日（月）午後1時30分から

## 4 開催場所

上越文化会館 中会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：松永展明（代理）、樋口秀、伊藤桂子、竹内敬次、山川美香、野本宏之、  
牧野章一、板垣島美子、佐藤正明（代理）、渡辺晶恵（代理）
- ・事務局：福祉課 田村副課長、藤井係長、大島主任

## 8 発言の内容

（田村副課長） ただいまから、平成30年度第1回上越市福祉有償運送運営協議会を開会させていただきます。

本日は、ご多用の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の出席についてですが、全国交通運輸労働組合 総連合 信越地方総支部の丸山委員から欠席の連絡をいただいております。

また、新潟運輸支局の小松委員の代理として、松永運輸企画専門官の松永様が出席。当市の企画政策部長である塚田委員の代理として、新幹線・交通政策課の佐藤課長が出席しております。

よって、当協議会設置要綱第6条第2項の規定により、本会は成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、次第3の議事に入らせていただきます。協議会設置要綱

第6条第1項の規定により、樋口会長から進行をお願いいたします。

(樋口会長) 長岡技術科学大学の樋口と申します。大学では地方都市の街中再生を研究しています。交通が弱い地域の方の移動手段については非常に大きな問題です。福祉有償運送について皆様と一緒に問題解決に向けて取り組んで行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(板垣副会長) 私は民生委員と公共交通活性化協議会の委員をしており、地域の方々の生活の足を確保したいと思っています。行政と公共交通機関の皆様のご協力の良い傾向にあります。外出ができ命を支えてもらっていることをありがたく思い、関係者の皆さんに感謝しております。手元の書類を見ますと一台の車で一人の運転手さんが50名以上の方を運送しているようで心身共に大変な仕事だと思います。この先更に高齢化社会が進むでしょうが、病気や老後でも移動手段を確保できて継続されるようにしたいです。よろしくお願いいたします。

(樋口会長) これからの議事進行につきましては、私の方で進めさせていただきます。議事が円滑に進行しますよう皆さまのご協力をお願いいたします。それでは議題(1)の「上越市の福祉有償運送について」、事務局から説明をお願いします。

(大島主任) (資料1, 2, 3により説明)

(樋口会長) 今ほど事務局から「上越市の福祉有償運送について」の説明がありました。委員の皆さん、ご意見・ご質問ありませんか。

(松永委員) 資料3の表から平成28年度と29年度を比較すると、運送回数は増えていますが運送収入と運行距離は減っていますが何か要因はありますか。

(大島主任) 安塚に関しては、人工透析を受けられている方の通院利用など、安塚区から旧上越市内まで運行距離が多い運送が減少したことと、1回当た

りの運送距離が短い区内の通院利用が増加したことにより、運送回数は増えて1回あたりの距離が減ったと考えられます。

スキップに関しては特別支援学校の通学について、重度のてんかんがあり、公共交通機関の利用が不安だということで利用があったとスキップから報告を受けています。

(山川委員) 行動援護とって外出時の支援を行うガイドヘルパーを求めている人は多いのですが、提供事業所が少ないので利用状況が横ばいになっています。利用者の立場として利用希望者はもっとあると思います。

(樋口会長) 続いて、議題(2)の「登録団体の更新に係る審議について」であります。事務局から説明をお願いします。

(大島主任) 今回の更新は「NPO法人 三和区振興会」となります。最初に「NPO法人 三和区振興会」の代表より申請内容について、説明いただき、説明終了後、質疑応答の時間を設けさせていただきます。質疑応答後、監査報告を行います。

その後、更新団体の皆様から一旦ご退席いただき審議に入ります。審議が終わりましたら、再び更新団体の皆様から入室していただき、審議結果をお伝えいたします。以上が、登録団体の更新に係る手順となります。事務局の説明は以上となります。

(樋口会長) それでは事務局から説明のありました更新団体の説明に入ります。「NPO法人 三和区振興会」様、説明をお願いします。

(更新団体) 三和区振興会の田口と申します。福祉有償運賃の利用状況について説明します。日常的に利用がある方が35名で登録だけの方が26名で合わせて61名になります。脱会した方の半分くらいの方がお亡くなりになり半分くらいの方が入院や施設に入られました。100回以上ご利用の方が1名、81回71回以上の方が各1名で、この方達は人工透析に通院している方です。区内の通院や買い物の利用者もいます。

利用者の推移ですが 28 年度に比べると若干減っていると思いますが、家族に送ってもらうようになった方や沢山使っていた方が亡くなったことも要因です。運行距離が減ったことについては区内の利用が増えたことが要因で、およそ区外へは片道 11km 区内だと 5km くらいの距離になりますのでご理解いただきたいです。車両に関して福祉車両 1 台で運行していましたが昨年末に 180 万円の助成金を頂きましてもう 1 台購入できました。2 台体制になりましたが、朝 8 時 30 分出発の人口透析通院の方に対応するためにも運転者数増の車両増になりました。以上です。

(樋口会長)            ありがとうございます。では質疑に入ります。委員の皆さん、ご意見・ご質問ありませんか。

(松永委員)            資料 4 の名簿の人数が違うようですが。

(大島主任)            事務局では三和区振興会の提出資料から資料 4 を作成しました。登録者数の中で介護認定者と身体障害者の重複障害の方が 4 名おり実人数は 34 人になっております。34 名と 35 名の違いについては申請書提出の時差かと思えます。

(松永委員)            1 月末時点での資料になりますので、それ以降に 1 名の申請がありましたので提出する名簿は 35 名になります。

(板垣副会長)         立地条件として三和区は広域でありながら全体を担っており時間的にも大変だと思えますが、大変がんばっておられると思えました。

(樋口会長)            次に協議会設置要綱第 8 条第 6 項に規定する監査結果について、監査委員の竹内委員から報告をお願いします。

(竹内委員)            2 月 12 日に今回更新する団体の監査を私と野本委員の 2 名により、上越市役所において監査を実施いたしました。「運行記録」「運転前点検表」「運転台帳」等の資料を確認し、指摘事項がないことを報告しま

す。

(樋口会長) 野本委員からご意見はございますでしょうか。

(野本委員) 監査に関しては指摘事項がないことを竹内委員と確認いたしました。

事業者側からの発言として監査をしながらジレンマを感じました。3年更新のチェック表上では運行に問題はありませんが、全体の構造としては物足りない感じがします。緑ナンバーで認可を受けて行っている事業者と白ナンバーで事務員も運転者に加わった素人の団体とで、命を運んでいるという認識のギャップを感じます。緑ナンバーと白ナンバーで事故率は変わらないのかもしれませんが。そこが福祉有償運送の課題だと監査をしていて感じました。

(樋口会長) これより更新の審議に入りますので、更新団体の方はご退席をお願いします。

(山川委員) 資料に問題がなければ良いと思います。野本委員の「命を預かる」という言葉に感動しました。

(渡辺委員) 野本委員の発言にありましたが事故の状況については監査の中にはなかったと思いましたが、事故報告はありましたか。

(大島主任) ありませんでした。

(樋口会長) 特にご異議がないようですので、「NPO 法人 三和区振興会」の更新について、合意いただいたということによろしいでしょうか。

(樋口会長) 審議の結果につきまして報告します。審議の結果、「NPO 法人 三和区振興会」につきまして、本運営協議会の合意に至ったことを報告します。それでは、今後の更新手続きについて、事務局から説明をお願いします。

(大島主任) 今後の更新手続きについて説明させていただきます。今ほどの運営協議会の決定を受けて、運営協議会の主宰者である上越市長から「運営協議会において協議が調ったことを証する書類」を更新団体に交付します。

その後、更新団体であります「NPO法人三和区振興会」が更新書類を新潟県交通政策局へ提出し、新潟県交通政策局で審査が行われた後、更新登録が行われることとなります。

(樋口会長) それでは、今ほど事務局から説明がありましたことについて、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

(樋口会長) 最後に本日の運営協議会全体を通して、ご意見はありますでしょうか。

(山川委員) 今年息子が 21 歳になり、こちらに携わった時にはまだ学生だったのですが社会人として 3 年を終えました。その中で障害児から障害者に移ったので福祉サービスを受ける状況が変わっていきました。息子や障害者の方が長く上越で生きていくためには移動手段が大きな課題であると思います。そして次の課題として、就職したくても通う手段がないということがあります。福祉と公共交通とが協力しながら、上越ならではの体制を作ることができたら良いと考えています。「命を預かる」という言葉があり、まさに命をお預けしていますが特徴のある子達なので配慮を頂きたいと思います。抽象的な意見で恐縮ですが、今後もよろしくお願ひします。

(樋口会長) それぞれの役割分担の中で補完しつつ組み合わせて使うしかないのかなと思います。地域性もあり移動手段も違いますが、このような場を開いて話し合うことが大事だと思います。

(山川委員) 今日の午前中の話ですが育成会に来られた方が「冬季のスペシャルオリックスには出なかった」と話していました。その理由は交通手段がないことでした。移動手段がないために今までできた活動が持続でき

なくなる実情があります。それは彼らの生活の一つがなくなってしまう  
ということです。何か良い方法があれば良いと思います。

(樋口会長) 宿題として考えていきたいと思います。ありがとうございました。

(田村副課長) 長時間にわたるご協議ありがとうございました。最後に事務局から  
1点連絡をいたします。

平成 30 年度の実施団体の更新に係る協議は、本日の件をもちまし  
て終了しました。来年度は、8 月 7 日に「かなやの里更生園」が更新  
期限となりますことから、7 月頃に協議会の開催を予定しています。

日程が決まりましたら、ご連絡させていただきますので、よろしく  
お願いいたします。

皆さんの方で何かございますか。

これをもちまして、平成 30 年度第 1 回上越市福祉有償運送運営協  
議会を終了させていただきます。お気をつけてお帰りください。

## 9 問合せ先

健康福祉部福祉課福祉係 TEL : 025-526-5111 (内線 1150)

E-mail : fukusi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。